

2017
新春号



ほ、元み

《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
1. 私達は自分の力で伸びて行こう
1. 私達は私達の規則を尊重しよう



《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます

1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします



我が国は戦
争放棄を憲法
で謳い、戦後
70有余年を
米国の核の傘

張し周辺国を力
を自国の領土と主
制圧しているよ
うに思えます。

また、お隣の中国
は南沙諸島の大半
を自国の領土と主
張し周辺国を力
を自国の領土と主
制圧しているよ
うに思えます。

新年明けましておめでとうござ
います。今年が皆様にとつて幸せ
な年になりますことをお祈り致し
ます。

さて、昨年は世間の予想を大き
く裏切る事柄が続きました。英国
では国民投票でEU離脱派が勝利
し、米国ではあれ程マスコミに批
判されたトランプ氏が次期大統領
に決まりました。世界を動かす先
進大国の国民の多くが、形振り構
わず自国の利益優先の
考え方を選択している
様に思えます。



新年のご挨拶

一般財団法人積善会 理事長 松尾 嘉禮

の下で守られてきましたが、トラ
ンプ氏の下ではどうなるのでしょ
うか心配です。北方領土もロシア
との交渉は難航することではし
ょう。経済協力のみ優先されるお人
よし外交は現在世界では通用し
ないように思われます。

今年は何とか明るい見通しの話
題が欲しいものです。

医療の世界を見ますと、年々医
療費が増大しています。その要因
は、高齢者の割合が増大している
こと、即ち労働人口の減少、先進
医療の開発、高額医薬品の普及
が言われています。

日本の人口はこの先現状の出生
率のままでは、減少すると予想さ
れ、国の推計では2060年ごろ
には8500万人まで減少すると
しています。それでも減少するの
は65歳以下の人口で、高齢者の割
合が高くなるだけとされていま
す。少子化対策が必要な現状で
すが、女性の社会進出を同時に推
奨している現在の政策では出生率
の改善は困難と思います。

トランプ氏の大統領就任で、T
PPの先行きは不透明になりました。
アベノミクスの成否も不透明
です。景気の低迷は我が国の社会
保障の先行きを不透明にします。
日本医師会は現在の医療制度を
維持するためには、以下のように

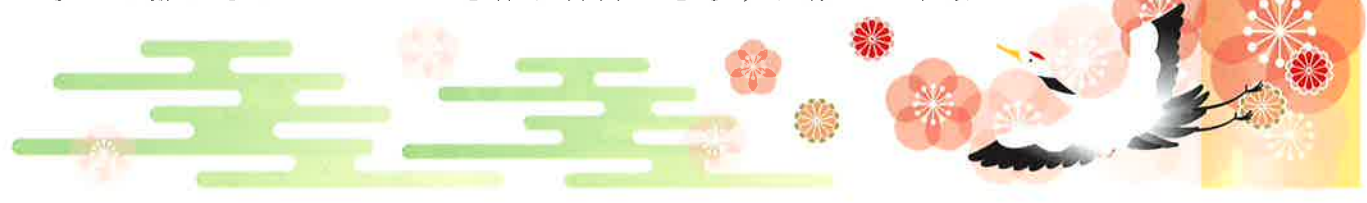
改革を推進していかなければ
と言っています。

- 1) 70歳以上の高額医療費の見直し
- 2) 入院時の光熱水費の患者負担
- 3) 高額医薬品の普及に対し、最
適使用推進ガイドラインの早
期作成
- 4) 介護給付の負担見直し
等を考えているようです。患者様
にとつては負担の増加を強いられ
る提案で有難くは無いものです
が、米国の様に医療難民を出さな
い為には国民全体で考え、工夫を
凝らしていかなければなりません。
現在の日本の医療水準を民間
医療保険で補う米国での保険料
は100万円/年位が必要と言わ
れています。世界に誇る国民皆保
険制度を守ることが国民の幸せを
維持することになると思います。

今年の世界の動きが我が国に
とつて逆風にならないことを願っ
ています。

私達、十全総合病院は世間の
動きにかかわらず、本年も市民の
皆様に安心・安全な医療を提供で
きるよう職員一丸となって邁進し
てまいります。どうか皆様のご協
力をお願い申し上げます。新年のご
挨拶と致します。

本年も皆様にとつて幸多い年で
ありますように。



がんの早期発見に貢献する〜細胞検査士〜

臨床検査科 技師長 鈴木 孝章



のです。

「細胞には顔がある」と言うと驚かれるかもしれませんが、細胞検査士は細胞それぞれの顔つき、つまりその形の変化を顕微鏡でとらえ、「良性細胞」と「悪性細胞・がん細胞」を区別しています。また、たくさんの細胞の中からわずかな数のがん細胞も見逃すことなく見つけ出し、判定するのが細胞診断です。

そして細胞診を担う専門資格を有した臨床検査技師が細胞検査士です。

細胞診は、細胞をスライドグラスに塗布し染色することでそれらの細胞が見分けやすくなります。また、細胞検査士が見つけ出した「がん細胞」や「あやしい細胞」に最終診断を下すのが、細胞診専門医です。専門医と共に顕微鏡をみて、細胞の特徴を確認しながら細胞診断を出し、臨床医に報告しています。その結果をもとに、患者さんの治療へと導かれるのです。

細胞診の特徴は、体に大きな負担をかけることなく精度の高い検査が出来る事にあります。たとえば、体

から自然に排泄される尿や痰などを細胞診の材料として用いれば、痛みを感じることもなく、何度でも繰り返し検査を行うことが可能です。また、子宮がんの検査のように、体の表面を軽く擦って細胞を採ることもありますが、体を傷つけることはほとんどありません。また、「しこり」に直接注射針を刺し込んで細胞を吸い取って乳腺や甲状腺の検査などを行います。さらに、集団

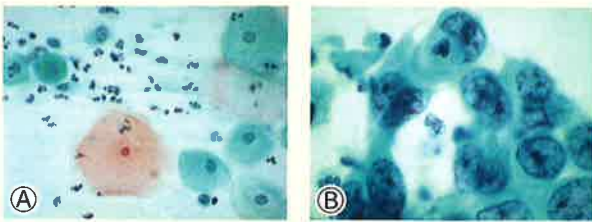
検診(子宮がん検診や肺がん検診など)として、一度にたくさんの方の検査ができることも特徴のひとつです。

近年、医学検査の技術は大きく進歩し、X線、電磁波、超音波などを使って撮影した画像をもとに診断する方法(画像診断)や、がん細胞が血液中に作り出すがん細胞関連物質を調べ

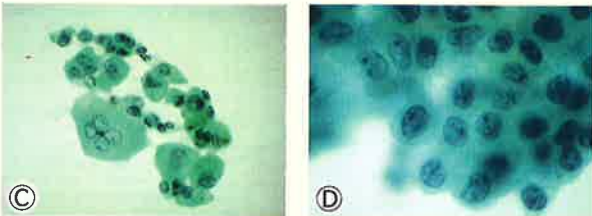
がん細胞はどっち？

チャレンジ細胞診

1. 子宮の細胞(AとB)



2. 膀胱(尿)の細胞(CとD)



A: 正常細胞(扁平上皮細胞) B: がん細胞(扁平上皮がん細胞) C: 正常細胞(尿路上皮細胞) D: がん細胞(尿路上皮がん細胞)

を見つけて出す方法(遺伝子検査など、がんの早期発見に役立つさまざまな方法が開発されています。これらの検査と共に体から採取した細胞や組織を顕微鏡で観察し、それらの形の変化を確認することで判断する方法(細胞診・組織診断)に委ねられ最終診断に至ります。

今や、日本人の三人に一人ががんで亡くなる時代です。我々細胞検査士は、皆様の健康と命を守るため、がんの早期発見と正確な診断に、顕微鏡を武器として日夜がん細胞に挑み続けています。

皆さんは「細胞検査士」という職業をご存知ですか。細胞検査士は、数あるがん検査の中で細胞検査を担う専門職です。集団検診などで採取された細胞を顕微鏡で詳細に観察し、がん細胞を探し、それが細胞検査士の仕事です。

人間の体は、約60兆個の細胞から出来ていて、その一つひとつは顕微鏡を使わないと見えない大きさです。そんな小さな細胞が、秩序正しく決められた仕事をこなしてくれるので私たちは健康に生活していくことが出来るのです。

ところが、時として、秩序を無視するように勝手気ままに増え続け、最終的には命をも脅かす細胞が出来てしまいます。これが、「がん細胞」な

マイコプラズマ肺炎

小児科外来

① どんな病気なのかな？

●「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染する事で起こる呼吸器感染症です。

●マイコプラズマ肺炎の感染経路は

「咳などを通して」「飛沫感染」
「手指を介して病原体が鼻や口に入る」「接触感染」があります。

●今年是全国的に増加傾向で、2011年につく流行です。

●秋から春にかけて、幼児や小学生に感染が拡大する恐れがあります。

●潜伏期間が2〜3週間と長いので、周囲にマイコプラズマにかかった人がいれば、しばらく用心してください。

② どんな症状なのかな？

●しつこい咳と頑固な熱が特徴です。

●聴診器で聞いただけでは分からないので、診断に時間がかかります。

③ 合併症にはどんなものがあるのかな？

●気管支炎が多く、軽い症状が続きますが、一部の人は肺炎となつて重症化します。

④ 治療は？

●マイコプラズマに効く薬はマクロライド系の抗生物質です。

●よく使用される製品がエリスロマイシン、リカマイシン、クラリス、クラリシッド、ジスロマック等です。

●最近、マクロライド系の抗生物質が効かないものも増えてきましたが、自然経過で治癒していきます。



咳の症状があれば、マスクを着用するなどの咳エチケットを心がけ、予防には手洗いやうがいが大切です。

第8回

坂本すが塾開催

公益社団法人日本看護協会会長

坂本 すが先生

平成28年10月29日(土)第8回「坂本すが塾」が150名の職員参加の下、開催されました。坂本すが先生には日本看護協会の会長として公務多忙のなか、当院中村院長の私的な交友関係で協会長就任以前からお世話になっております。

今回は、午前中に「私が元気になる方法をテーマとして看護師を対象としたグループワークを行い、坂本すが先生より直接アドバイスをいただくことができました。

午後からは、全職員対象に「生涯現役」楽しく仕事を続けて行くためにはと題した講演をしていただきました。1日を通して今年も大変有意義な研修となりました。



医療福祉相談支援センターのご案内

○ 総合医療相談

医療福祉相談支援センターでは療養生活中に起こるさまざまな問題や不安、心配事などのご相談をお受けします。

○ 退院支援

退院後、家庭や社会の中で安心して生活するために、入院時から今後の生活に向けて、在宅医療・介護の調整や転院・施設入所に関する退院支援を行っています。

適宜、医師・院内各専門スタッフ・地域の医療機関・ケアマネージャー・訪問看護ステーションなどと連携し、支援をします。

○ 医療連携

地域の医療機関との連携を図り、ご紹介いただいた患者様に対し、スムーズに医療を提供するための窓口業務を行います。



相談をご希望の方は

入院中の方は入院している病棟の看護師に申し出てください。外来の方は総合受付または各科外来に申し出てください。

内容については秘密を厳守いたしますので、お気軽にご相談ください。

相談日時

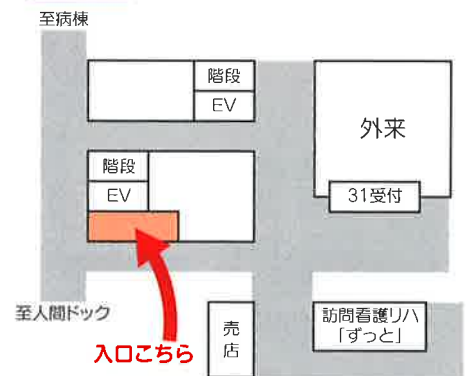
月～金曜日 8:45～12:30

13:30～17:30

土曜日 8:45～12:30

(第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日は休み)

案内図 リハビリ棟 3階



講演では、まず佐々木医師より乳がんを起す原因、乳がんを早期発見するためのセルフチェック方法や現在の治療法などの説明があり、続いて専門技師によるマンモグラフィと超音波の検査方法、比較、画像を用いたの説明がありました。

乳がんは早期発見できればかなりの確率で助かる病気です。当院でのピンクリボン運動も紹介されました。

乳がん検診の重要性をあらためて知ることができる内容でした。

10月4日(木)13時より、「知っておきたい乳がんの話2016」と題し、副院長 外科部長 佐々木章公医師、臨床検査技師 泉谷美和による医療講演会を別子銅山記念図書館において開催しました。受講者は64名と沢山の参加がありました。

知っておきたい
乳がんの話
2016



《中高生ら愛大・高知大生と共に本格的医療模擬体験!》

メディカル・オータムスクール2016

in十全総合病院

H28.9.24 開催

MS2016実行委員長 松尾 真嗣

今年は悪天候が続いた影響で学校行事と重複し、多くの応募者がやむ無くキャンセルとなり、受講者数が例年より少ない開催となりました。それでも参加した地域の中高生と、急遽セミナーに参加してくれた看護学生及び高知大学・愛媛大学の医学部生らと共に、実際の医療現場で本格的な医療模擬体験を活発に行いました。

本セミナーは「将来医師になりたい」「医療に携わりたい」という若者が増えること、また生徒たち自身が将来の進路を選定する時の一助になることを目的としています。参加した生徒・学生(19名)は医師をはじめとした医療キャスト(59名)と6時間に及ぶ様々な体験を真剣にかつ楽しみながらトライし、充実した時間を過ごしました。



今年の体験

- 胃内視鏡検査
- 超音波検査
- リハビリテーション
- メスを使った外科手術(異物摘出)
- 顕微鏡を使つての異物摘出
- 医療用食品の実食
- 整形外科手術
- 採血・挿管等

今回参加した生徒の中から一人でも多く医療を志し、私たちの仲間になって欲しいと願うと共に、今後もこの活動をとおして地域医療に貢献して行きたいと思ひます。

公開糖尿病教室開催

糖尿病サポートチーム 看護師 井川 広美

平成28年11月9日(水)全国糖尿病週間に合わせ、当院正面玄関ロビーと外来3Fカンファレンスルームにおいて、十全公開糖尿病教室を開催しました。

今年のテーマは、「1ト合併症を体験しよう」実は体の中こんなになっています」として、正面玄関ロビーでは、血糖・血圧測定、食べ物の塩分表示と簡単な体操を行いました。体操は、童謡の「ふるさと」の曲に合わせて気軽に簡単に行え、通りすがりの方も足を止めて参加されていました。

また、3Fカンファレンスルームでは、神経障害体験、網膜症体験、目で見える腎機能、体内の糖の流れを見てみよう、インスリンってどんなもの?とコーナーを設けて、疑似体験してもらえるように、チクチクスリッパ、眼底出血眼鏡、腎臓のろ過する状態、体内の糖の流れなどスタッフが手作りで準備しました。担当したスタッフに色々と質問したり、聞き入る様子も見受けられました。できるだけ多くの体験をしてもらえるようスタンプリリー方式にしたことで、最後のアンケートまで参加された方は29名でした。今後楽しみながら糖尿病について学び、日常生活に活かしていただけるように働きかけると共に、糖尿病患者さんやご家族に継続した支援をしていきたいと思えます。



腎臓病教室のお知らせ

平成29年3月17日(金)に腎臓病教室を開催します。詳細は決まり次第、院内掲示にてお知らせします。お気軽にご参加ください。お問い合わせ

十全総合病院 栄養管理科 TEL(0866)33-1888

平成28年度 新居浜市民公開糖尿病 教室に参加して

糖尿病サポートチーム 糖尿病看護認定看護師 守谷 景子

平成28年11月26日(土)に新居浜市民公開糖尿病教室がリーガロイヤルホテルで行われました。

新居浜市民公開糖尿病教室は、新居浜市と市内6病院が協力をして糖尿病週間のある11月に毎年行われている市民への公開講座です。参加された方への血糖・血圧測定、毎年のテーマに合わせた講演会が主な内容になっています。

公開糖尿病教室に来られた参加者の人と話をしながら血糖を測定していると、「私、糖尿病の予備軍って言われているんです。」という方が何人かいらっしゃいました。そして、この人達の血糖値がどうだったかというところ、食後の血糖値ではあったものの190mg/dlや260mg/dlという明らかに予備軍を過ぎてしまっている状態でした。

よくよく話を聞くと病院での採血はいつも空腹時に行っているとのこと、空腹時は大きな異常値では無いため「予備軍」の診断になっていたようです。糖尿病予備軍という言葉に惑わされ、知らず知らず糖尿病が進行しているこの状況を目の当

りにし、正しい糖尿病知識の啓発活動を行うっていく必要があると思いました。

測定が終わると講演会です。今年は愛媛労災病院の整形外科副部長の村上智俊先生から「寝たきりを予防するために大切なこと」として、ロコモシンドロームやサルコペニア肥満などについての話があり、参加者は熱心に聞いておられました。

講演後にリハビリ体操を全員で行い、運動は簡単にできることや運動の爽快感を体験してもらいました。また今年の公開糖尿病教室は、ゲストとして高津小学校合唱部を招待し、子どもたちによる合唱が行われました。子どもたちの歌声は美しく、聞いている人の心を魅了したなかで今年の公開糖尿病教室は終了しました。興味を持たれた方は、来年もありませんので覗いてみてください。



Coming soon

十全訪問看護リハステーション

2017年2月
十全総合病院売店前にオープン



訪問看護とは、病気や障害のために支援が必要な方に
看護師やリハビリ技師がご自宅に訪問し看護ケアや
リハビリを提供するサービスです。

住み慣れた地域やご自宅で、その人らしい療養生活を
送れるよう、私達は「ずっと」応援していきます!



2016年10月より訪問看護・訪問リハビリを行っています。

サービスの 内容

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 症状・障害の観察 | <input type="checkbox"/> 排泄の管理 |
| <input type="checkbox"/> 傷や床ずれの処置 | <input type="checkbox"/> 点滴 |
| <input type="checkbox"/> チューブの管理 | <input type="checkbox"/> 医療機器の管理 |
| <input type="checkbox"/> 入浴や清拭 | <input type="checkbox"/> ご家族への介護相談 |
| <input type="checkbox"/> リハビリ | |

十全訪問看護リハステーションの特徴

- ご自宅での療養生活の支援
- がん看護や床ずれの処置等、専門性の高い看護を提供
- リハビリ技師による在宅リハビリ
- 状態変化時やレスパイト目的の入院相談対応



十全訪問看護リハステーション 開設準備室

〒792-8586 新居浜市北新町1-5 十全総合病院 外来棟3階
TEL(0897)47-6165(担当 八木) / FAX(0897)47-6166

参加費無料
申込不要

糖尿病教室のお知らせ

日時 毎週水曜日 午後2:00～
場所 外来棟3階カンファレンスルーム

開催日	内 容	担 当
1/ 11 (水)	新年の目標を立てよう 食事はどうしたらいいの?	看護師 管理栄養士
1/ 18 (水)	お菓の種類をおしえて もう怖くない低血糖 正しい対処法を知ろう	薬剤師 看護師
1/ 25 (水)	運動療法のはじめの一步	理学療法士
2/ 1 (水)	糖尿病と診断されたら 食事の栄養バランスについて学ぼう	内科医師 管理栄養士
2/ 8 (水)	体調が悪い時はどうすればいいの? インスリン注射についてきてみよう	看護師 薬剤師
2/ 15 (水)	わたしにもできる運動ってあるの?	理学療法士
2/ 22 (水)	カンパセーションマップ すごろくのような地図を囲んで、糖尿病の知識や体験を話し合い、糖尿病について楽しく学びます	担当スタッフ
3/ 1 (水)	しめじ・えのきを知っていますか?～糖尿病合併症～ 血糖値を測ってみよう	内科医師 臨床検査技師
3/ 8 (水)	嗜好食品は上手にとろう 足を観察してみよう～フットケア～	管理栄養士 看護師
3/ 15 (水)	聞いてみよう!透析療法のお話 お菓の正しい知識	臨床工学技士 薬剤師
3/ 22 (水)	運動について悩みはありませんか?	理学療法士
3/ 29 (水)	すごろくゲームで糖尿病を学ぼう	担当スタッフ

※都合により内容が変更になる場合があります。

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれも遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いたします。 病院長

移動図書館 青い鳥号



来院予定日

1/ 11 (水)・25 (水)
2/ 8 (水)・22 (水)
3/ 8 (水)・22 (水)

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。



交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車
「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車
- 《JR》JR予讃線……新居浜(にいほま)駅下車、タクシーで約10分

一般財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会



未来が変わる。日本が変わる。
ストップ! 温暖化

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士の育成
校是【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全第二病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。
- 社会福祉法人 三恵会
子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話をしています。
総合福祉施設 やすらぎの郷
介護老人福祉施設 ハートランド三恵
介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘
介護老人保健施設 希望の館
障害者支援施設 三恵ホーム
児童福祉施設 十全保育園
総合福祉館 コミュニティハウス三恵
福祉館 恵海
児童福祉施設 中萩保育園
養護老人ホーム 新居浜市立慈光園



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。